

科目名	測量学実習（2） Survey Training II	科目コード	51050
-----	--------------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	山本 隆広（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義0，演習0，実験30，その他0】
教科書	なし
補助教材	指導書を配布する
参考書	浅野繁喜ほか，測量，実教出版

【A. 科目の概要と関連性】

路線測量における偏角弦長法による曲線設置法の実習およびトラバース測量の実習を行う。

○関連する科目：測量学(2)（前年度履修），測量学実習(1)（前年度履修），
応用測量学（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 指定された半径の曲線を偏角弦長法により設置する能力を身につける。	45%	(d1)
② トラバース測量の実施方法および計算方法を理解する。	55%	(d1)

【C. 履修上の注意】

グループによる共同作業となるので，グループメンバーに迷惑をかけないためにも各人が事前学習により実習内容を理解しておくことが求められる。求められる精度を満足するように慎重に作業を進める必要がある。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（100%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス	ガイダンス終了後実習を開始
2	路線測量の内業（接線長，曲線長，外線長，偏角，弦長の計算）	
3	路線測量の外業 中心杭の測設（1）	
4	路線測量の外業 中心杭の測設（2）	
5	路線測量の内業 精度の検討	
6	路線測量の報告書の作成	
7	トラバース測量の外業 造標，測距，測角（1）	
8	トラバース測量の外業 造標，測距，測角（2）	
9	トラバース測量の外業 造標，測距，測角（3）	
10	トラバース測量の外業 造標，測距，測角（4）	
11	トラバース測量の外業 造標，測距，測角（5）	
12	トラバース測量の内業 合緯距，合経距の計算	
13	トラバース測量の外業 細部測量（1）	
14	トラバース測量の外業 細部測量（2）	
15	製図・報告書の作成・まとめ	
1	ガイダンス	ガイダンス終了後実習を開始